

ぼくだけの秘伝書！

これで栽培に不安なし！

札幌市立観南小学校 笹 澄子

様々な種類の野菜を子どもに選択させて栽培させるのは、勇気がいります。何ととっても、私たち自身に不安があるからです。世話の仕方やその時期が種類によって違うため、いくら気をつけていても子どもに悲しい思いをさせてしまうこともあります。また、自分の力で育てようと意欲を持っていても、子どもにとっては情報源がなく、不安がいっぱい…。

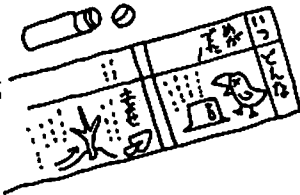
そこで、こんな活動を通して栽培への不安をなくし、必要最小限の情報を保障してあげるのはいかかでしょうか。

000の巻き物を作ろう！

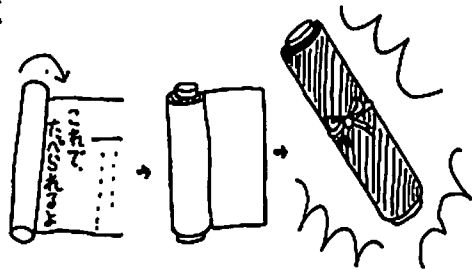
ぼくのトウモロコシいつ、どんなお世話をしたらいいの？



* どんどん紙を継ぎ足して…



* 出来たら、ラップの芯を巻いて…



* 色画用紙で表を包み、リボンで封を…

- ◆国語科の説明文の単元をきっかけにすると子どもも楽しめます。
- ◆形式については、始めに示してあげましょう。
- ◆情報源となる資料は、事前に子どもと家庭に配布しておきます。
- ◆読めない、意味がわからない時には、家族や先生がオタスケマンに！

できた！ぼくの巻き物！

先生、そろそろ芽かきをしなくちゃダメじゃない!?